

科目名	英語講読Ⅱ (英語論文読解) English Reading II		担当教員 (研究室番号)	ドライデン いづみ (502)		教員への連絡方法 (メールアドレス)						
履修 年次	1年次 後期	科目 区分	教養・基礎科目		選択 区分	必修	単位数 (時間)	1(30)	授業 形態	演習	科目等 履修生	可
											オープンクラス	可
科目 目的	長文読解と内容理解に必要な英語の基礎的文法や語彙の知識を身につける、英語のパッセージがどのように展開されていくかを理解する。											
ディプロマ・ ポリシー (DP)	主要なDP	C 多様な考え方や文化的背景を持つ人々の特徴に応じて、自らの看護活動の必要性や方法を説明するためのコミュニケーション能力を有している。(技能・表現)										
	関連する DP	A 人々の生命・尊厳・権利を尊重し、看護専門職者としての倫理観に基づいて行動することができる。(姿勢・態度) B 人々の生活に根ざした看護を実践するための幅広い教養と専門的知識を有している。(知識・理解)										
到達 目標	1. 英語論文の内容理解とともに、英語文法知識・語彙力を身に付け、国際社会において自らの考えやイメージを英語で説明することができる。 2. 医療分野の英語用語（看護師や医療従事者が使用する言葉・フレーズ）と日常で使用する英語用語（言葉・フレーズ）やパラグラフごとに英文内容を精読・要約・考察し、グループ討議で英語で発表することができる。 3. 各英語論文の内容に言及して例を挙げて自らの意見を英語で述べることができ、論文内容を論理的に考察することができる。											
成績評価方法 (基準)	毎回の授業課題提出 (90%) レポート課題 (10%) ※レポート課題については、ルーブリックを用いて評価する。											
再試験の有無と 基準等	・ 無：各授業課題、およびレポート課題によって評価するため、再試は不可能。											
教科書	English Workbook for Mikanese Students [三看大生のための英語ワークブック] (PDFファイル・ワークシートをTeamsにて配布する)											
参考書等	授業中に適宜紹介する。											
学生の主体性を伸ばすための教育方法と 学生への期待	医療英語の力（聞く・読む・話す・書く力）や英語論文読解に必要な医療現場で頻繁に使われる略語や元の英語の意味の理解を症例とともに習得しながら、国際社会において看護師・医療従事者の在るべき姿・医療の在るべき形を英語論文の内容とともに考察する。また、チーム基盤型学習 (TBL: Team Based Learning) やSNA（ソーシャル・ネットワーキング・アプローチ）を取り入れ授業を進めるので、チームのメンバーとして責任を持って積極的に自らの意見を発言し、グループ・ディスカッションや毎回の課題に取り組むこと。											
備考	英文の読解力向上のため、多読（特に英語論文）を推奨する。課外学習として、図書館や担当教員研究室に設置の英語書籍（レベル別も有）、もしくは授業で紹介するウェブサイトやデータベースに掲載の英語論文を読み、英語で感想文を記述・提出すると、エキストラ・ポイントとして成績評価に加算する（論文数・冊数制限無し）。詳細は1回目授業にて説明する。何回かの授業でネイティブの学外協力者の話を聴く場合もある。											
回	学習項目					学習内容					主担当 教 員	授業 方法
1 回	イントロダクション					授業の進め方、教科書、出欠席の扱い、成績評価に関する説明をする。チーム（グループ）を決め、チーム・ワーク（グループ・ディスカッション）の方法を説明する。「備考」欄に記載した課外学習についても説明する。チーム・メンバーと協力し、看護についてディスカッションする。					ドライ デ ン	講義 演 習
2 回	Chapter 1: 看護の歴史					看護の歴史に関する英文を読み、関連した教材を視聴し、自らの意見を述べ、チーム・メンバーとディスカッションして学んだ内容をワークシートに記述する。					ドライ デ ン	講義 演 習
3 回	Chapter 2: 日本の看護事情					日本の看護事情に関する英文を読み、関連した教材を視聴し、自らの意見を述べ、チーム・メンバーとディスカッションして学んだ内容をワークシートに記述する。					ドライ デ ン	講義 演 習
4 回	Chapter 3: アフリカ諸国の看護事情					アフリカ諸国の看護事情に関する英文を読み、関連した教材を視聴し、自らの意見を述べ、チーム・メンバーとディスカッションして学んだ内容をワークシートに記述する。					ドライ デ ン	講義 演 習
5 回	Chapter 4: 英国及び関連諸国の看護事情					英国及び関連諸国の看護事情に関する英文を読み、関連した教材を視聴し、自らの意見を述べ、チーム・メンバーとディスカッションして学んだ内容をワークシートに記述する。					ドライ デ ン	講義 演 習
6 回	Chapter 5: 東欧諸国の看護事情					東欧諸国の看護事情に関する英文を読み、関連した教材を視聴し、自らの意見を述べ、チーム・メンバーとディスカッションして学んだ内容をワークシートに記述する。					ドライ デ ン	講義 演 習
7 回	Chapter 6: インドの看護事情					インドの看護事情に関する英文を読み、関連した教材を視聴し、自らの意見を述べ、チーム・メンバーとディスカッションして学んだ内容をワークシートに記述する。					ドライ デ ン	講義 演 習
8 回	Chapter 7: 南米諸国の看護事情					南米諸国の看護事情に関する英文を読み、関連した教材を視聴し、自らの意見を述べ、チーム・メンバーとディスカッションして学んだ内容をワークシートに記述する。					ドライ デ ン	講義 演 習
9 回	Chapter 8: アジア諸国の看護事情					アジア諸国の看護事情に関する英文を読み、関連した教材を視聴し、自らの意見を述べ、チーム・メンバーとディスカッションして学んだ内容をワークシートに記述する。					ドライ デ ン	講義 演 習
10回	Chapter 9: 中国の看護事情					中国の看護事情に関する英文を読み、関連した教材を視聴し、自らの意見を述べ、チーム・メンバーとディスカッションして学んだ内容をワークシートに記述する。					ドライ デ ン	講義 演 習

11回	Chapter 10: 韓国の看護事情	韓国の看護事情に関する英文を読み、関連した教材を視聴し、自らの意見を述べ、チーム・メンバーとディスカッションして学んだ内容をワークシートに記述する。	ドライデン	講義演習
12回	Chapter 11: 中近東諸国の看護事情	中近東諸国の看護事情に関する英文を読み、関連した教材を視聴し、自らの意見を述べ、チーム・メンバーとディスカッションして学んだ内容をワークシートに記述する。	ドライデン	講義演習
13回	Chapter 12: タイの看護事情	タイの看護事情に関する英文を読み、関連した教材を視聴し、自らの意見を述べ、チーム・メンバーとディスカッションして学んだ内容をワークシートに記述する。	ドライデン	講義演習
14回	Chapter 13: ヨーロッパ諸国の看護事情	ヨーロッパ諸国の看護事情に関する英文を読み、関連した教材を視聴し、自らの意見を述べ、チーム・メンバーとディスカッションして学んだ内容をワークシートに記述する。	ドライデン	講義演習
15回	Chapter 14: 北米の看護事情	北米の看護事情に関する英文を読み、関連した教材を視聴し、自らの意見を述べ、チーム・メンバーとディスカッションして学んだ内容をワークシートに記述する。	ドライデン	講義演習

学 習 課 題

1 回目事前課題：教科書の各Chapterに目を通しておく。
 1 回目事後課題：教科書の英文内容の復習とともに、自分の考えを英語で記述できるようにする。
 2 ～ 1 5 回目事前課題：教科書の各Chapterの英文テキストを学習しておく。
 2 ～ 1 5 回目事後課題：英文テキストから学んだことやチーム・メンバーとグループで討議した内容を思い出し、自らの意見や考えをまとめておく。尚、1 5 回目及びレポート課題（配点 1 0 0 点）は、Teamsの「課題」に設定された期日までに提出する。

実務経験を活かした教育の取組